

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院循環器内科で冠動脈疾患に対しカテーテル検査・治療を受けたことのある患者さんへ

和歌山県立医科大学循環器内科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

光干渉断層イメージングのAI解析に基づく急性心筋梗塞発症予測法の開発

2. 研究責任者

研究代表者

川崎医科大学 循環器内科学 教授

上村 史朗

研究分担者

川崎医科大学 循環器内科学 講師

久米 輝善

川崎医科大学 循環器内科学 講師

山田 亮太郎

大阪大学 国際医工情報センター 特任教授

三宅 淳

大阪大学 データビリティフロンティア機構 特任准教授

新岡 宏彦

和歌山県立医科大学 循環器内科 教授

赤坂 隆史

和歌山県立医科大学 循環器内科 准教授

久保 隆史

奈良県立医科大学 循環器内科 講師

渡邊 真言

奈良県立医科大学 循環器内科 学内講師

添田 恒有

大阪大学医学部 循環器内科学 教授

坂田 泰史

国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センター センター長 宮本 恵宏

3. 研究の目的

本研究は、OCTによって得られる画像情報を収集し、AIによる深層学習を用いて解析することにより、急性心筋梗塞（AMI）発症の予防策を確立することを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2010年3月1日～2018年12月31日の間に経皮的冠動脈インターベンション治療（PCI）を受け、血管内イメージング（光干渉断層法：OCT）による病変の観察を行った方です。

(2) 利用させて頂く情報

情報：年齢、性別、病歴、OCT画像データ、治療後の状況 等

本研究の情報は論文等の発表から5年間保管した後、廃棄いたします。

(3) 方法

1) AMIを発症した責任冠動脈部位のOCTによるプラーク画像、OCT診断に卓越した医師がAMIに進

展する可能性が高いと診断したハイリスクプラークの OCT 画像、正常冠動脈患者の OCT での血管断面画像を安定血管壁の OCT 画像を AI に深層学習させた上で、ハイリスクの特徴のあるプラーク部位を内在する可能性の高い AMI 患者の非責任血管で記録した OCT 画像を、深層学習させた画像データと比較して、将来的に責任病変となる可能性の高い OCT 画像を自動診断できるシステムを構築します。

診療情報に関するデータは、匿名化した状態でデータセンターである大阪大学国際医工情報センターへ提供を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学循環器内科講座

担当医師：寺田 幸誠

TEL：073-441-0621、 FAX：073-446-0631

E-mail：koseiterada0712@gmail.com